

日本獣医腎泌尿器学会

- 1 学会名：日本獣医腎泌尿器学会
(Japanese Association of Veterinary Nephrology and Urology)
- 2 事務局所在地：
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-9-19(株タस्प内)
TEL 03-5970-3990
FAX 03-5970-3997
E-mail info@tasp.co.jp
URL <http://www.javnu.jp/index.html>
- 3 目的：
 - (1) 学術集会、研究会の開催
 - (2) 学会誌、その他の出版物の刊行
 - (3) 内外の関連学術団体との連携
 - (4) 獣医腎泌尿器科学に関する一般への啓発、並びに普及活動
 - (5) 獣医腎泌尿器科学に関する研究、調査ほか

- 4 組織：

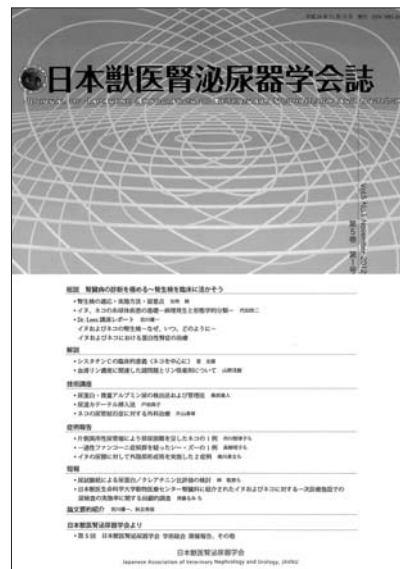
会長	大橋文人 (大阪府立大学)
副会長	2名
理事	16名
監事	2名
顧問	2名
事務局長	1名
会員数	248名 (平成25年8月現在)
賛助会員	17社

- 5 沿革：

平成2年1月に発足した動物血液透析研究会から始まり、名称を動物血液浄化研究会、獣医腎泌尿器研究会と改称しつつ、動物の腎泌尿器疾患に関する研究の促進と研究成果の普及に寄与することを目的として18年間活動を行ってきた。その後、組織の活性化や情報発信促進の要望が内外から出ていることを受けて、平成20年7月に日本獣医腎泌尿器学会へと改組され現在に至っている。

- 6 活動内容と特色：

本学会では目的達成のために、年1回の単独学術集会開催と共催開催を行い、また年1回の学会誌刊行を行っている。学会誌に関しては、今後の状況を鑑みて



の増刊も考慮中の状況にある。本学会は、現在、日本学術会議協力学術団体として登録されることとなり、獣医師会の生涯研修ポイント取得対象も獲得している。

腎泌尿器疾患の研究課題は、分子レベルの生物学、生理学的あるいは形態学的研究、病態生理学・病理学や診断・治療に関する研究まで多岐にわたっている。中でも、遺伝性腎泌尿器疾患の遺伝子レベルでの解析や発生予防の検討、慢性腎不全の診断・治療指針の策定及び早期診断や治療法開発、末期腎不全患者への人工透析療法や腎移植療法の確立など、多くの急務的実用化研究課題について学術集会や学会誌を介した集約的研究として実施することを模索している。将来構想としては、用語の統一化や腎バイオプシー検査所見の集積化の実現などを基盤的ステップとして、国際的な診断基準及び治療指針のガイドラインを作成したり、また認定医/専門医制度の導入についての可能性を検討していきたいと考えている。

学術集会、各種講演会、または学会誌に関する最新の情報についてはホームページ上に公開することで、これらの活動への参加方法などについても詳細に紹介しています。小動物の腎泌尿器疾患に興味をお持ちの方は、ぜひホームページをご覧ください、本学会へ入会希望される方についてもホームページ上からの入会手続きを進めていただきたい。

- 7 文責者：大石明広 (帯広畜産大学)